



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ROTOBO

2024年(令和6年)10月25日号 No.1972

目次

■ 2023年の米口貿易の総括と展望	1
■ 『ロシアNIS調査月報』2024年11月号のご案内	14
■ トピックス	15
アルメニアとの租税条約が実質合意／15	
日立建機、カザフで鉱山機械のコンポーネント再生工場を開所／15	
米EU、ロシア凍結資産活用でウクライナに追加融資／15	
カザンでBRICS首脳会合開催／15	

2023年の米口貿易の総括と展望

(一社) ROTOBO ロシアNIS経済研究所
部長 齋藤 大輔

はじめに

昨年、米国はロシアとの間でどのような貿易を行ってきたのか。制裁強化で、ロシアとの関係断絶が進む中、二国間貿易は、どのように変わったのか。2023年の米口貿易を振り返るとともに、今後を展望してみたい。

1. ほぼ1割に止まらない縮小

米統計局(USA Trade Online)が発表した貿易統計によると、昨年1年間の米国とロシアの貿易額は51億7,039万ドルとなり、前年を67.9%の大幅な落ち込みとなった。360億ドルだった2021年から一転、2022年は55.3%、2023年は67.9%と、2年連続で50%を超える落ち込みとなり、2021年比85.6%減とほぼ1割の水準に縮小した。

米国は日本や欧州諸国とともに、ロシアによるウクライナ侵攻を非難し、厳しい経済制裁を次々と科す。バイデン政権は、もうこれ以上科すことがないというほど制裁を強化し、ロシアに圧力をかけ続ける。米口貿易の落ち込みは、西側諸国の中で英国と並んで大きく、その内容は、日本や欧州諸国と比べものにならないほどの厳しいものだ。2023年も、侵攻を続けるロシアに対し、輸入禁止の対象品目を拡大するなど、厳しい態度を続けた。ロシアとの対立が長期化する中、ロシアとの経済的な結びつきの縮小が一段と進んだ。

米国からロシアへの輸出は医療用品、機械、自動車、精密機器など大半の品目(HSコード2ケタ